

2025 年度 学際研究共創プログラムの公募（追加募集）

学際科学フロンティア研究所長

早 瀬 敏 幸

学際科学フロンティア研究所では、若手教員の学際的研究活動に対する多様なニーズに応えるために「学際研究共創プログラム」を2025年度に追加で所内公募いたします。応募された提案は本所運営会議で審議し、採択いたします。

応 募 要 項

1. 研究形態

学際科学フロンティア研究所（本研究所）に所属する助教を代表者とし、分野を横断した2名以上の研究者（研究機関は問わない）で構成される研究組織。本研究所やTI-FRISに所属する異分野の研究者を含む共同研究を推奨します。

2. 研究内容

実施可能な先導的学際研究（ただし、本研究所助教採用時の研究計画に記載されている範囲の課題内容と判断される場合には支援の対象外とします。）

3. 採択決定時期と研究期間

2025 年 7 月下旬頃採択決定を行う予定です。また研究期間は最大2年度（2027 年 3 月 31 日まで）とします。

4. 支援内容

支援研究費は最大 **100 万円／年**です。研究経費は審査の結果最大3割程度減額されることがあります。なお、研究費は代表者に措置され、学際研で執行します（他機関には資金移動はできません）。研究遂行にあたっては FRIS CoRE の活用を推奨します。本研究所内の居室・実験室の占有利用を希望する場合には、申請前に事務室にご相談ください。

5. 応募方法

所定の様式の申請書を用いて PDF ファイルを作成し、下記のグーグルフォームの URL から **2025 年 6 月 24 日 (火) 午後 5 時**までにアップロードして下さい。

URL: <https://forms.gle/3m4BHKd3wT41QBXP>

当研究所のホームページ（<http://www.fris.tohoku.ac.jp>）から申請書様式をダウンロードできます。

6. 採択件数

2 件程度

7. 選考

運営会議で審議し、採択します。類似の研究費を獲得している場合には採択の優先順位を下げる場合があります。

8. 報告

採択されたテーマに対しては、期間内および終了後の成果発信または展開についてフォローを行います。**研究期間内は年度ごとに本研究所の成果報告会で発表を行っていただくとともに、最終年度に成果報告書（活動報告書に掲載）の提出が義務付けられます。なお、成果の公表にあたっては必ず「学際科学フロンティア研究所学際研究共創プログラム」によるものであることを記してください。**

9. 取扱い

研究遂行および終了時の取り扱いは本研究所の規則に従っていただきます。また本所を利用される場合、安全衛生管理、経費執行ならびにネットワーク管理などについても本学および本所にて実施運用しているすべての規則・指導に準拠して研究を実施していただきます。なお、これらを逸脱していると判断される場合には研究支援を中止させていただきます。

10. ライフイベントの取扱い

研究期間中のライフイベントの取扱いについては「ライフイベントによる学際研のプログラム等の取扱いに関する申し合わせ」（以下 URL）を参照してください。

URL:

https://www.fris.tohoku.ac.jp/media/files/ライフイベントによる学際研のプログラム等の取扱いに関する申し合わせ_JP.pdf

11. その他

本公募に関しご不明な点は、下記担当者あてにご照会ください。

- 企画部 才田教授、内線 5752、jsaida@fris.tohoku.ac.jp
- 事務室 栗谷川、内線 5755、somu@fris.tohoku.ac.jp

申請書の書き方について

1. 研究領域

6 領域の中からいずれか一つを選び、○で囲んでください。（採択に際し、領域が変更になる可能性があります。）

2. 研究組織

学際科学フロンティア研究所に所属する助教を代表者とし、分野を横断した2名以上の研究者（研究機関は問わない）で構成される研究組織。**本研究所やTI-FRISに所属する異分野の研究者を含む共同研究を推奨します。**

3. 研究経費

研究経費支援は本研究の遂行に必要な、備品、消耗品、論文等の校閲・掲載費、学会参加費、フィールドワークや治験等による旅費・謝金、および国内・海外共同研究者との共同研究のための出張または呼び寄せの旅費等で、最大 100 万円／年とします。（事務用品等の申請は原則として認められませんのでご注意ください。） また審査の結果、最大 3 割程度減額されることもあります。

4. 研究目的、計画・方法、本研究終了後に予想される研究展開、等

申請書は適宜字数を調節して 2 ページに収めてください。また、本研究所助教採用時の研究計画に記載されている研究内容と関連する場合には、本研究課題の新規性を説明してください。

5. 代表者が申請研究課題に関連して競争的資金を獲得している場合には備考欄に記載下さい。

学際研究共創プログラム申請書

研究課題名 (和英両方で 記載)	(和文): (英文):	
領 域	(1)物質材料・エネルギー、(2)生命・環境、(3)情報・システム、(4)デバイス・テクノロジー、 (5)人間・社会、(6)先端基礎科学	
研究代表者	氏名:	
1. 研究の目的と意義 (研究課題の学際性を記述下さい)		
研 究 組 織 (研究代表者及び研究分担者、TI-FRIS研究者には*をつけてください)		
氏 名	所属研究機関・部局・役職・専門・E-mail	役 割 分 担
研究経費等		
	事 項	金 額 (単位: 千円)
1 年 目	備品	
	消耗品	
	旅費・謝金・その他	
	計	
2 年 目	備品	
	消耗品	
	旅費・謝金・その他	
	計	
合 計		

2. 研究期間中および終了後に予定している展開について（外部資金への申請、論文発表 等）

3. 研究計画・方法

4. 備考（本課題に関連して申請者が獲得している外部資金、予算の執行についての留意事項等があれば記載して下さい）